

分子病理・病理、病理診断科

【実習目標】

一般目標：

適正な医療の推進のために、病理組織診断、細胞診及び病理解剖の医療の中における位置づけと病理医の役割を理解する。

行動目標：

1. 病理組織診断依頼書の書き方が説明できる。
2. 検体の適切な提出法，固定法を説明できる。
3. 検体採取から病理診断までの一連の作業を説明できる。
4. 手術材料の切り出しができる。
5. 標本の顕微鏡観察が正確にできる。
6. 悪性腫瘍については取扱い規約に従って，切り出し，診断ができる。
7. 病理診断を行った症例をカンファレンス等で呈示し，解説ができる。
8. 術中迅速診断における標本作成過程及び診断過程を述べることができる。
9. 細胞診の役割，検体提出の方法，診断法を説明できる。
10. 病理解剖における臨床経過と病理組織学的所見の相関を述べることができる。
11. 病理解剖に関する法的事項，手続き等を説明できる。
12. 病理検査業務における細胞検査士，臨床検査士の役割を説明できる。
13. 治療適応決定のための分子病理診断の意義を説明できる。

【実習内容】

分子病理学（旧病理学第一）あるいは病理学（旧病理学第二）研究室の指導医の指示に従って作業あるいはレクチャーを受ける。

- （月） 8:30より剖検例肉眼臓器検討会に参加。オリエンテーション。検討症例の受領。
午後、手術標本の切り出し。
- （火） 標本作製過程の見学・実習。ルーチン作業への参加。検討症例の解析。
- （水） 8:00よりミクロカンファレンス（旧病理学第二）に参加。
10:00よりミニレクチャー（病理診断科）
ルーチン作業への参加と検討症例の解析。
- （木） ルーチン作業への参加と検討症例の解析。
- （金） プレゼンテーション準備。午後：検討症例のプレゼンテーションと考察。
分子病理学あるいは病理学研究室教授総括。

*1日 (9:00-17:00) を関連病院の病理診断科での研修に充てる。

注1) この間、病理解剖の依頼があれば、随時、病理解剖の見学あるいは介助。

注2) 術中迅速診断は随時、見学する。

注3) 実習週に以下のカンファレンスが該当する場合、参加することが望ましい。

臨床各科との合同カンファレンスは以下の通りである。

月曜日	17:30	皮膚病理カンファレンス (皮膚科)
月曜日	18:30	乳癌術後カンファレンス (乳腺外科、放射線治療科)
月曜日	19:00	肺癌カンファレンス (呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科)
火曜日 (月2回)	19:00	乳癌術前カンファレンス (乳腺外科、放射線診断科)
火曜日 (二月1回)	19:30	泌尿器腫瘍カンファレンス (泌尿器科、放射線診断科)
火曜日 (二月に1回)	19:00	消化管癌カンファレンス (消化器・代謝内科、消化器外科)
水曜日 (月1回)	19:00	肝癌カンファレンス (消化器外科、消化器・代謝内科、放射線科)
木曜日 (月1回)	18:30	胆膵癌カンファレンス (消化器外科、消化器・代謝内科)
金曜日	9:00	細胞診カンファレンス
水曜日 (不定期)	18:30	骨軟部腫瘍カンファレンス (整形外科)

【注意事項】

1. 上記日程は学会等で変更する可能性があるため、必ず各グループは実習前週の金曜日の午後1時までに分子病理学(旧病理学第一)あるいは病理学研究室(旧病理学第二)を訪ね、実習週の予定を再確認すること。(事前連絡事項はメールにて行うので、広大アドレスの自分のメールを各自必ず確認しておくこと。)
2. 剖検例肉眼臓器検討会は入院棟1階剖検室で行われる。
3. 服装：白衣着用、ネームプレートをつけること。(清潔な白衣を2着以上持っていることが望ましい。) 食堂、カンファレンス室での白衣は厳禁。
4. 検体が感染性である場合もあるので、臓器を扱う際は常にゴム手袋を着用し、使用後は消毒液で手洗いすること。
5. 教科書、病理組織アトラス、ノート、筆記具を持参すること。
6. 臓器の切り出し中、剖検中にけがをした場合はすぐ申し出ること。
7. やむを得ず欠席する場合は、その旨を申し出ること。

【指導教員】

分子病理（旧病理学第一） 基礎・社会医学研究棟 4階西

教授 安井 弥、准教授 大上直秀、講師 仙谷和弘、助教 坂本直也

連絡先 メールアドレスkzsentani@hiroshima-u.ac.jp (仙谷)、電話082-257-5147 (医局)

病理（旧病理学第二） 基礎・社会医学研究棟 4階東

教授 武島幸男、講師 Amatya V. Jeet、助教 櫛谷 桂

連絡先 メールアドレスykotake@hiroshima-u.ac.jp (武島)、電話082-257-5152 (医局)

大学病院 病理診断科

教授 有廣光司、助教 城間紀之

連絡先 arihiro@hiroshima-u.ac.jp (有廣)、082-257-5591 (受付)

【学生評価】

出席回数、課題発表の内容（知識、技能、態度）、研修病院での指導医による実習評価を総合的に評価し、60点（100点満点）以上を合格とする。